

PLAY TRUE ● SOFTBALL

ドーピング防止のために

ドーピングは

スポーツの価値を損ないフェアプレーの精神に反し
競技者の健康を害する反社会的な行為である。

2026

WAR DANGER DANGER DANGER
ANTI-DOPING ANTI-DOPING ANTI-DOPING
ANTI-DOPING ANTI-DOPING ANTI-DOPING



公益財団法人 日本ソフトボール協会
医事委員会 (2026年度版)



スポーツ振興くじ助成事業

治療使用特例〈TUE〉の申請

Therapeutic Use Exemptions

- ▶ 高血圧、糖尿病、気管支喘息、腎炎などの病気やケガの治療のためにドーピング禁止物質を使わざるを得ない場合、申請により治療目的使用が認められれば、例外的にその物質を使用することができます。ただし、書類手続きの不備等により使用が許可されなければ、「ドーピング違反」となります。
- ▶ TUE申請の時期は、競技者のカテゴリーによって異なります。

国際レベルの競技者

- (1) 国際大会へ出場予定がある競技者(国内・海外開催を含む)
- (2) WBSC(世界野球ソフトボール連盟)から居場所情報の提出を求められている競技者

▶ **禁止物質・禁止方法を使用する前にTUE申請が必要です。**

申請書類や提出先については、JSA(日本ソフトボール協会)にお問い合わせ下さい。

国内レベルの競技者

- (3) JADA(日本アンチ・ドーピング機構)から居場所情報の提出を求められている競技者
- (4) 右記の競技会に出場する競技者
 - 第55回日本男子ソフトボールリーグ
 - JD.LEAGUE
 - 第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」《本大会》

▶ **禁止物質・禁止方法を使用する前にTUE申請が必要です。**

申請書類はJADAのホームページ*よりダウンロードし、JADA-TUE委員会**に提出してください。

- (5) (1)~(4)以外の競技者(レクリエーション競技者を含む)

▶ **禁止物質・禁止方法を使用する前にTUE申請をする必要はありません。**

競技会においてドーピング検査を受け、その後JADAより連絡があった場合、TUE申請をおこなってください。

書類はJADAのホームページ*よりダウンロードし、JADA-TUE委員会**に提出してください。

* JADA(日本アンチ・ドーピング機構)ホームページ …… <https://www.playtruejapan.org>

** 公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構 TUE委員会 宛
〒112-0002 東京都文京区小石川1-12-14 日本生命小石川ビル 4F
TEL 03-5801-0939 FAX 03-5801-0944



- ▶ 急病の場合は、上記(1)~(5)のいずれのカテゴリーの競技者も、禁止物質・禁止方法を使用してからの申請(遡及的申請)が可能です。
- ▶ 事前申請のTUE申請書は、提出先に郵送して、大会の30日前までに届く必要があります。申請は、競技者本人が行うことになっています。申請を行ったら、必ず申請書のコピーを日本ソフトボール協会医事委員会に送ってください。また、判定書が送られてきたら、そのコピーも送ってください。

ドーピングを防ぐために

1. 薬局・ドラッグストアなどで市販薬を購入するとき

STEP 1 薬局へ行く前にやるべきこと
スポーツファーマシスト¹⁾がいる薬局を調べます。

STEP 2 薬局でやるべきこと
スポーツファーマシストがいる薬局に行く場合は：
①スポーツファーマシストと一緒に薬の検索ページであるGlobal DRO²⁾で薬の成分に禁止物質が含まれるかを確認し、
②検索結果を紙やメールで受け取ります。

スポーツファーマシストがいない薬局に行く場合は：
①薬剤師と一緒に購入予定の薬をGlobal DROで検索し、
②検索結果をスポーツファーマシストに問い合わせ、
③問い合わせの回答をメールやFAXで受け取ります。

STEP 3 購入時にやるべきこと
Global DROの検索結果とスポーツファーマシストのアドバイスから、使用するかどうかを競技者自身が最終的に決定してください。

1) スポーツファーマシストの検索ページ：
<https://sportspharmacist.jp/search/>



2) 薬の検索ページGlobal DRO：
<https://www.globaldro.com/JP/search>



2. 特に注意すべき市販薬

1 風邪薬(総合感冒薬)、咳止め薬(鎮咳去痰薬)
大部分の製品に禁止物質の興奮薬(メチルエフェドリンなど)が含まれています。風邪をひいたときは病院を受診して、禁止物質を含まない風邪薬を処方してもらうようにしましょう。

2 花粉症(アレルギー性鼻炎)の薬(スプレーを含む)
興奮薬のプロイドエフェドリンを含む製品は使用できません。

3 痔の座薬・注入軟膏
糖質コルチコイド(プレドニゾロン、ヒドロコルチゾンなど)を含む製品は使用できません。

4 胃腸薬
興奮薬のストリキニーネを主成分とするホミカを含む製品は使用できません。

3. 漢方薬・滋養強壮薬

禁止物質を含むものが多数あります。例えば、風邪薬の葛根湯や小青竜湯には、興奮薬のメチルエフェドリンを主成分とする麻黄(マオウ)が含まれていますし、ベータ2作用薬のヒゲナミンを含む生薬が配合されている胃腸薬やのど飴もあります。漢方薬や滋養強壮薬は植物や動物由来の生薬が主原料のため、含有成分が特定できないものも多く、成分・量も一定ではないため使用してはいけません。また、漢方薬はたとえ病院から処方されたものであってもTUE申請はできません。

4. サプリメント

サプリメントは成分表示の法的規制が医薬品よりもゆるく、含有成分がすべて表示されているわけではありません。特に海外製品の中には、禁止物質の蛋白同化薬や興奮薬が含まれていることがあります。また、禁止物質が含まれていないはずの製品でも、製造工程でたまたま禁止物質が混入したもの(いわゆる汚染製品)を使用して「ドーピング違反」となってしまった例も報告されています。医薬品と異なり、サプリメントは内容について問い合わせても調査できない製品も多く、使用してはいけません。

5. 病院で診察を受ける時

STEP 1 診察を受ける前にやるべきこと

自分がドーピング検査を受ける可能性がある競技者であることや、スポーツで禁止されている物質・方法があることを伝え、医師がアンチ・ドーピングの知識や情報を持っているか確認します。知識を持っている場合は、そのまま診察を受けてよいのですが、知識を持っていない場合は、禁止物質・禁止方法を調べるために、Global DRO やスポーツファーマシストについて説明をしてください。

STEP 2 治療を受ける前にやるべきこと

禁止物質・禁止方法を使わずに治療できるかどうかを医師と相談してください。使わずに治療できる場合は、Global DROの検索画面などで禁止物質・禁止方法でないか再度医師と確認し、検索結果などは紙やメールで受け取ります。禁止物質・禁止方法を使わなければ治療できない場合は、医師と一緒にTUE申請書を準備してください。

6. 薬で分からないことがあるときは

Global DROのサイトで調べる、スポーツファーマシストに問い合わせるようにしてください。なお、問い合わせの履歴(検索結果、ファックス、電子メールなど)や服用履歴は、競技者自身が必要な手順を踏んだことの証明になりますので、きちんと保管してください。

7. 口に入れるものは自分で管理する

誰かに故意に禁止物質を混入されないよう、トレーニング時や試合時に飲料などから目を離さず、口に入れるものはしっかり管理してください。

8. その他、アンチドーピング全般に関するお問い合わせ

日本ソフトボール協会医事委員会またはJADA(日本アンチ・ドーピング機構)にファックスで問い合わせてください。

公益財団法人 日本ソフトボール協会

FAX 03-5843-0485

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

FAX 03-5801-0944

ドーピングはどうしていけないのか

ドーピングは「ずる」くて「危険」な行為です。

スポーツの健全な発展と競技者の健康を妨げる行為を絶対に容認することはできません。

禁止表に示される物質や方法を使用すると「ドーピング」とみなされます。

競技者はルールをよく理解し、ドーピング防止のための正しい知識を身につけることが必要です。

JUST DON'T DO IT.